

安倍政治
ストップ

いのち・くらし第一の 千葉県めざしががんばります

日本共産党

加藤 英雄
(柏市)



みわ 由美
(松戸市)



12月議会

災害復旧・復興支援に470億円の補正予算が成立

被災者に寄りそい 一日も早く日常を取り戻すために さらなる支援拡充と国への働きかけを



みわ由美県議

12月県議会で一般会計補正予算が全会一致で可決しました。台風・豪雨災害からの復旧・復興にむけ470億4200万円を計上しています。

討論に立った、みわ由美県議は、住宅の一部損壊や農林水産業、中小企業の事業再開への支援などについて「これまでの枠を超えた支援のための予算計上は評価できる」と賛成しました。

そのうえで連続した災害による甚大な被害から「日々の生活と生業を一日も早く取り戻す」ために住宅被害への支援を全壊、大規模半壊、半壊ともにいっそうの増額など、さらなる支援の拡大をもとめました。同時に農業ハウスなどの再建・修繕への支援を受けるためには長期の農業従事者が求められるなどの支援条件となるハードルを下げることが必要と指摘しました。

被災者に寄り添った早期の復旧・復興へ、国への働きかけも含め、支援の拡充を実現するために県の総力を挙げることを求めるとともに、日本共産党もその実現に力を尽くします。

「桜を見る会」疑惑の徹底追及を 日本共産党提出意見書 自民・公明などが否決

安倍首相主催の「桜を見る会」の疑惑について、予算委員会の集中審議などを行い、徹底説明するよう求める意見書を日本共産党が提案。しかし自民党、公明党などがこれに反対し否決されました。

「桜を見る会」は公的行事の「私物化」や首相をかばうための招待名簿破棄や虚偽答弁など、政治モラル破壊が大きな問題となっています。国会閉会後も野党共同ヒアリングによって、第二次安倍政権以後、招待名簿が公文書管理法に違反した取扱いや廃棄をされていた事などが明確になりました。

「桜を見る会」疑惑の説明はまっとうな政治を望む国民への責任です。政府と一緒に疑念に蓋をすることは許されません。

みなさんの願いを届けました

「ひとり一人にゆきとどいた教育を」 県への署名提出集会に参加しました

「ゆきとどいた教育をもとめる千葉県民の会」は、11月29日教育無償化や少人数学級など教育条件の改善を求める請願を提出しました。日本共産党県議団は紹介議員になり、提出集会に参加。この日、積み上げられた署名は、6万7592に達しました。



「オスプレイいらない」は県民の声 木更津への暫定配備受け入れ撤回を

12月4日「安保法廃止！オール千葉の会」が主催した「日本の空にオスプレイいらない」宣伝で日本共産党県議団は、連帯のあいさつを行いました。伊藤とし子県議（市民ネットワーク）と西尾憲一県議（平和の党）も参加しました。



米国はイラン核合意復帰を！ 中東への自衛隊派兵やめよ

2019年12月県議会 主な意見書・請願の賛否 ○…賛成 ●…反対	共産	自民	立憲民	千葉民	公明	千翔会
消費税5%への引き下げを求める意見書	○	●	●	●	●	●
習志野演習場へのオスプレイ飛来・訓練と船橋市・八千代市・習志野市の上空通過に反対する請願	○	●	●	●	●	●
就学援助制度の拡充、学費等の実質無償化 35人以下学級を求める請願	○	●	○	●	●	●
幼児教育・保育の父母負担軽減、私学助成の大幅増額を求める請願	○	●	●	●	●	●
「桜を見る会」疑惑の徹底説明を求める意見書	○	●	○	○	●	●
公的・公立病院「再編・統合」案の撤回と地域医療の抜本的拡充を求める意見書	○	●	●	●	●	●
教員への「一年単位の变形労働時間制」導入の撤回を求める意見書	○	●	●	●	●	●



2018年度決算
加藤英雄県議
が厳しく指摘

深刻な人員不足で 被災地に行けない

災害救援に素早く対応し、県民の安全最優先へ

県職員の確保と働き方の改善を

日本共産党は、2018年度決算に反対し、税金の使い方を正して、県民の命と安全を守る県政への転換を求めました。

● 25年間で人口は40万人増 職員は6割に
「定員適正化計画」の名で徹底した削減

県職員は、福祉などの住民サービスを担い、災害時には県民の命と安全を守り、救援のためには欠かせない役割を果たします。

1988年度から「定員適正化計画」の名で、1万836人いた知事部局職員は、2013年度6583人に減り、現在は7100人程度です。人口比で全国最少水準のまま、長時間労働や病欠療養休暇が増加しています。



● 長時間・過密労働野放し
療養者が過去5年で最大に

2018年度、月45時間を超える時間外勤務は894人、年間360時間超は522人に達し、長期療養休暇が193人と最多です。

日本共産党は「職員組合のアンケートに『職員を大切にすることは求めらるべき』などの声が寄せられている。いま必要なのは求められる業務量に比べられるだけの抜本的な職員増を図ることだ」と強調しました。

● 「残業代未払い」
労基署が立ち入り調査・是正勧告

旧水道局・病院局

2019年2月と3月に旧水道局本所と、千葉、船橋水道事務所へ、相次いで労働基準監督署の立ち入り調査が行われ、船橋水道事務所は「36協定」違反の是正勧告を受けています。パソコンに残る使用時間のデータから、労働時間の実態調査を行うよう指導を受け、2018年11月から昨年3月まで調べた結果、500人分、1万4046時間もの残業代の未支払いが発覚しています。

さらに県立の佐原病院や、こども病院、がんセンターでも労基署から「36協定」違反の「是正勧告」を受けています。あたり前のようにサービス残業が蔓延し、公務の職場での法違反、サービス残業の横行など断じてあってはならないことです。

交通事故死 全国ワースト 信号機の予算 6年で半減

外環道、圏央道、北千葉道路の大型道路には、県施工分も含め、毎年、国の要求通り満額計上され、2018年度まで3300億円が投入されています。

一方、生活に直結する道路整備費用は、各土木事務所からの要望額（約1000億円）の6割程度しか予算化されていません。

昨年度の県内交通事故死亡者数は186人、その内の半数は高齢者の事故で、依然として全国ワーストクラスとなっています。

にもかかわらず信号機新設予算は6年前と比べ半減し、設置数は、年間90基だったものが、40基まで減らされています。

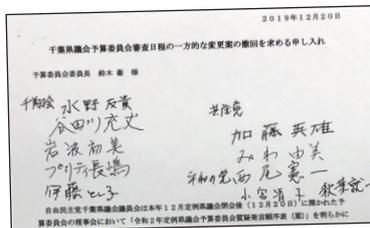


自民強行 予算委員会 知事への質疑締め出し 県議10人が共同で撤回申し入れ

自民党は、2月県議会の予算委員会質疑順序の変更を強行しました。公明、千葉民主は、自民に同調し、立憲民主は反対。

知事へ質疑ができる予算委第1日目の「総括質疑」（テレビ中継あり）から日本共産党など2人～1人の会派を締め出し、2日目と3日目に限定するというものです。

昨年までは、全ての会派が知事（予算案提出者）に質疑できました。



日本共産党、千翔会などの県議10人は、連名で予算委審議の民主的な運営を求め、予算委員長に一方的な変更の撤回を申し入れました。（左の写真）

日本共産党